

# ふれあい

Hospital Tsudanuma Central  
**Vol. 70**  
General

**病院理念** 「安全と信頼に基づき地域医療に貢献します」

- 基本方針**
1. 私たちは、安全で質の高い医療を実践します
  2. 私たちは、高い技術と真心で接します
  3. 私たちは、地域の医療機関と協力します
  4. 私たちは、健全な病院運営に努めます
  5. 私たちは、人間性豊かな人材育成に努めます

新入職医師紹介	1
ふれあい健康講座について	2
新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ	3~4
習志野がん検診	5
放射線科だより	6



## 患者様の権利

1. 良質な医療を受ける権利  
あなたは、どのような時でも安全な医療を平等に受けることができます。
2. 医療情報を得る権利  
あなたは、自分の病気や治療方法に対して知ることができます。
3. 医療行為を選択できる権利  
あなたは、自分の病気や治療に対して十分な説明を受け、治療法など自ら選択することができます。また、他の医師の意見(セカンド・オピニオン)を聞くこともできます。
4. プライバシーが守られる権利  
あなたの診療に関する個人情報やプライバシーは保護されます。
5. ご自身が受けている医療について知る権利  
あなたは、自分の診療記録の開示を求めることができます。

## 患者様へのお願い

1. 最良の医療を行うために、医師をはじめとする私達職員に、皆様の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えてください。
2. 患者様ご自身の早い時期での健康回復・増進のために、私達職員と共に治療に参加してください。
3. すべての患者様が適切な医療を受けられるために、他の患者様の医療に支障を与えないよう協力してください。

### 編集後記

院内広報誌『ふれあい』をお手に取り、最後までお読みいただきありがとうございます。

秋号では新入職の先生方の紹介、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザについてなどを掲載いたしました。

また、私達広報委員会では地域の皆様に必要な情報を提供していきたいと考えております。院内に設置してあります『ご意見箱』へ今後掲載してほしい内容やご要望など、皆様のご意見をお聞かせください。

次号は1月頃発刊予定の冬号となっております。楽しみにお待ちください。

広報委員会 内田千恵、山口正昭



医療法人社団愛友会

## 津田沼中央総合病院

〒275-0026 千葉県習志野市谷津1丁目9番17号  
TEL.047-476-5111 <http://www.tcgh.jp>

〈ふれあい発行責任者〉西田 勝則  
〈編集責任〉広報委員会 〈発行年月〉2020年12月



AGEO MEDICAL GROUP

## 新入職医師紹介



泌尿器科  
平岡 毅郎

2020年8月より着任しました泌尿器科の平岡毅郎です。千葉県船橋市出身で、高校時代までは津田沼を中心に生活をしていました。大学は島根大学を卒業し、島根大学医学部附属病院をはじめ、島根県立中央病院、土谷総合病院、雲南市立病院で研鑽をつんできました。このたび縁あって津田沼中

央総合病院に入職させていただきました。今後はこれまでの経験をいかし地域医療の向上に努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定  
日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医



外科  
豊田 真之

2020/9/1より津田沼中央総合病院に新たに着任しました外科の豊田真之です。主に肝臓、胆道、膵臓、十二指腸の消化器疾患を中心に外科治療、内視鏡診断/治療を専門に行ってきました。特に膵臓疾患、胆道疾患においては悪性の場合には予後が良くないため早めの検査、診断、治療が必要となります。何事も早期診断、早期治療が望ましく、それにより治療予後が良くなります。手術治療はもとより膵臓、胆道系の内視鏡診断、治療も専門にしております。早急にかつ正確に診断し、患者様にとって最適な治療を提供すること

をモットーに、この病院から新たに地域医療に貢献できれば幸いです。消化器疾患に対するご相談、悩みがありましたら、気楽に外来受診していただければ対応いたします。よろしくお願いいたします。

診察日：火曜日PM、金曜日PM  
外勤日：木曜日PM、帝京大学病院、土曜日

日本外科学会外科専門医・指導医  
日本消化器学会胃腸科認定専門医・指導医  
日本消化器学会消化器専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡医・指導医  
日本膵臓学会認定指導医  
日本胆道学会認定指導医  
日本病院総合診療医学会認定病院総合診療医  
日本ヘリコバクター学会Hpylori(ピロリ菌)感染症認定医  
日本消化器外科学会認定  
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医



循環器内科  
西 智子

2020年9月より入職しました循環器内科、健康管理科の西です。2008年に富山大学卒業後、千葉県内で循環器診療を行い、2012年より千葉大学大学院にて心臓超音波を専門とし、心臓疾患の診断学に力を入れてまいりました。当院での外来を通して、当地域

の疾患の早期発見、早期治療に貢献していきたいと思っております。何か心配な症状などありましたら気軽にご相談ください。宜しくお願い致します。

日本内科学会認定医  
日本心エコー図学会SHD心エコー図認証医なし

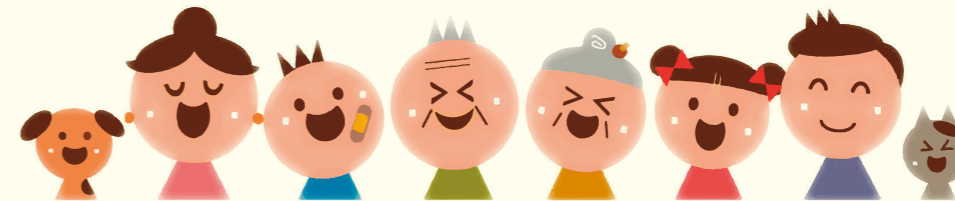
## 2020年9月24日開催のふれあい健康講座について

### 2020年9月24日、ふれあい健康講座を開催致しました。

テーマは「乳がんのおはなし」、講師は外科医の豊田剛先生でした。当日は台風の予報でしたが、小雨程度のお天気で、肌寒さはありませんでしたが、28名の方々が参加してくださいました。乳がんがテーマということで女性の方の参加が多く見られました。皆さん、熱心にメモを取りながら聞いていらっしゃいました。時間内での質問はしにくかったのかもしれませんが、帰り際に豊田医師に質問されて帰られる方がいらっしゃいました。「これまで検診のお知らせが来てもポイっとしていました。今からでも検診は受けられますか。」という質問があり、看護師が対応させていただきました。これまでも何度かふれあい健康講座に携わってきましたが、どの講座後も、参加者の方々の病気・健康管理への関心・意識が高まるのを感じられます。新型コロナウイルスの流行のため、やむを得ず、開催回数の減少、開催方法の変更等がありますが、可能な方法で地域の方への働きかけを継続していきたいと改めて感じています。最後になりますが、今回、講師をして頂いた豊田剛先生、ご協力頂きました皆さんには感謝しております。ありがとうございました。



4東病棟 高野 麻衣子



今後の予定 12月・1月は休会となります。次回開催日は決定次第お知らせいたします。



## 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ

10月に入りました。例年ですとインフルエンザが流行し始める時期ですね。

昨シーズン(2019年から2020年にかけて)は、2019年の8月から12月中旬までは例年より少し早めの感染者数が報告されていました。しかしその後、感染者数は減少し流行は発生しませんでした。

なぜでしょう。12月末に中国武漢で、今までと違う肺炎患者が発生しているらしいとの報道がなされました。そう、新型コロナウイルスによる感染症が広がり始めていたのです。そして、1月中旬ごろより国内での発症者報告、渡航歴のない発症者の報告、武漢からのチャーター便での帰国者やダイヤモンド・プリンセス号の乗客のCOVID-19発症報道と、どんどん国内での報告が増えていきました。これを受けて、国中の人々が感染対策を行ったのです。

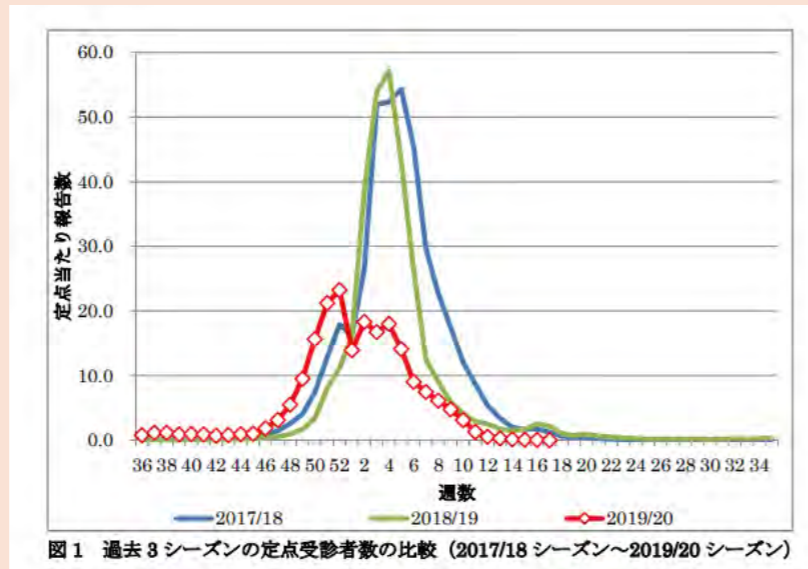
新型コロナウイルス感染症の感染は飛沫・接触感染でひろがりますインフルエンザの感染も飛沫・接触感染でひろがります。ということは新型コロナウイルス感染症対策で「流水やアルコールでの手洗い・消毒」「マスクの着用」「よく手が触れる場所の清掃や消毒」が定着したことがインフルエンザの流行を起こさなかった可能性が考えられます。

私たちの生活も、これまでとは変わらざるをえませんでした。

これまでは咳が出ている方へ「咳エチケット」でのマスク着用をお願いしていたのですが、今では「ユニバーサル・マスク着用」という言葉を聞く機会が増えてきました。

ユニバーサル・マスク着用とは、「すべての人々は感染源にならないように人込みに立ち入るならば、マスクを常に着用しよう」という考え方のことです。このことで、マスクの利用目的は「自分が感染者であった場合、周囲の人々にウイルスをばくろさせないこと」となり、さらに「自分が感染源にならない」と変わってきました。病院などの施設に入る方へマスクを着用するようにお願いしているのはこのためです。

ユニバーサル・マスク着用は、咳エチケットの拡大版です。飛沫が飛ぶことを防ぐことができればよいので、必ずしもサージカルマスクである必要はありません。布マスクでも構わないし、不織布のマスクでも、手作りのマスクでもいいのです。ただし、医療従事者が業務上で使用するマスクは、感染対策として「標準予防策・飛沫予防策」がとれなくてはなりませんのでサージカルマスクが基本です。



国立感染症研究所 / 厚生労働省結核感染症課 令和2年8月27日 発表資料より

マスクをしましょう



### インフルエンザワクチンを接種しましょう

10月～12月にかけてインフルエンザワクチンの接種が推奨されています。インフルエンザワクチンは「かからない」ためのワクチンではありませんが、重症化を防ぐ効果が認められています。インフルエンザにかかると免疫が低下しますので他の感染症にかかりやすくなります。そんな時に新型コロナウイルス感染症や肺炎にかかると非常に重篤になってしまいます。今年は特にワクチン接種が進められています。接種後免疫がつくまでには2～4週間程度かかりますのでなるべく早めに、できれば11月中旬に接種することをお勧めします。

13歳以上の方は1回の接種で十分に免疫がつきます。なるべく多くの方へ接種ができるようにと、1回接種をお願いしています。6か月以上13歳未満の方は2回接種となります。

### 感染をひろげないために

感染症にかからない・うつさないためには、いくつかの対策を組み合わせることで行けることが大切です。

#### 対策1 咳エチケットを守りましょう

#### 対策2 手洗いをしましょう

多くの人が触れた場所をあなたもわたしも触れています。こまめな手洗いは感染対策の最も大切な対策です。

#### 手洗いのタイミング

- ・外出から戻った後
- ・多くの人が触れたとおもわれる場所を触った後
- ・咳・くしゃみ、鼻をかんだ後
- ・症状のある人のお世話をした後
- ・料理を作る前、食事の前
- ・家族や動物の排せつ物を取り扱った後
- ・自分がトイレを利用した後



日々の生活の中で、「何にも・どこにも触らない生活」はとても困難です。何かに触った後、「手を洗わないままに食べたり飲んだりしない 目をこすったりしない」ことで感染のリスクを減らしましょう。

#### 対策3 環境消毒・換気

部屋の中のお掃除も基本ですね。日ごろからの備えとして習慣としていきましょう。

新型コロナウイルスは症状が出る2日ほど前から感染力があるとの知見が出されました。

インフルエンザも症状の出る1日前から感染力があります。

咳エチケットを守る・手洗いをすることは新型コロナウイルス感染症にかかわらずインフルエンザなどほかの感染症に対しても有効な予防対策です。

# 習志野市 の がん検診



- 【受付時間】  
午後13:00～15:00
- 【持ち物】
- 保険証 ・診察券
- 受診券(特定健診・後期高齢者検診を希望の方)
- 無料券又は無料クーポン券(お持ちの方のみ)

【個別検診】

習志野市国民健康保険 特定健康診査	40～75歳 (受診券お持ちの方)
習志野市後期高齢 健康診査	75歳以上の方 (受診券お持ちの方)
大腸がん検診	40歳以上の方
肝炎ウイルス検査	40歳以上の方 今までに1度も受けたことがない方
前立腺がん検診	50歳以上の <b>男性</b> の方
胃がんリスク検診	40歳以上で <b>5歳刻み</b> の方
骨粗しょう症検診	40歳～75歳以上で <b>5歳刻み</b> の方
子宮がん検診	20歳以上の偶数年齢の方 (奇数年齢でも昨年度未受診であれば可)
乳がん検診 (①乳腺超音波・②MMG)	①乳腺超音波→30代の偶数年齢 ②MMG →40代の偶数年齢 (奇数年齢でも昨年度未受診であれば受診可)

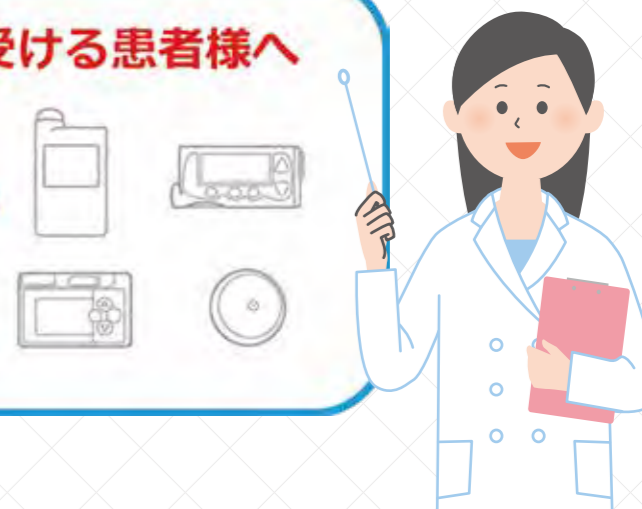
放射線科検査で最近よく目にする、注意事項について説明します。

新製品の導入などにより、インスリンポンプ(CSII)並びに持続グルコース測定器(CGM・FGM)を使用する患者数は年々増加しており、それに伴い、CSII・CGM・FGMを使用中の患者がX線、CT、MRIなどの検査を受ける機会も増加しています。

各装置の注意書きにエックス線、MRIの影響を受けX線検査、CT検査、MRI検査等を受けるときは外して検査を受ける事と記載があります。必ず検査前に担当スタッフに声をおかけください。

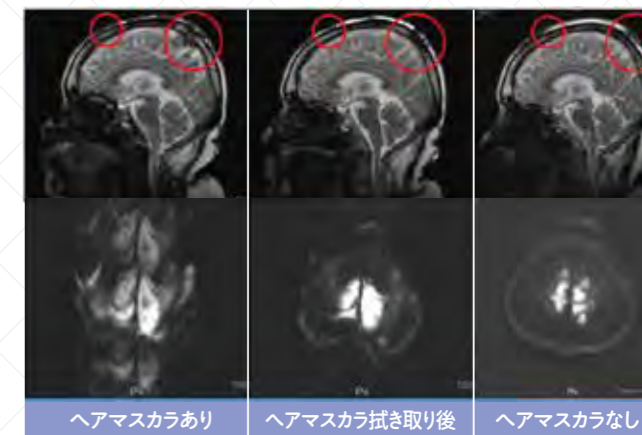
**X線・MRI・CT検査を受ける患者様へ**

インスリンポンプ及び  
CGM・FGM(持続グルコース測定)  
をご使用中の患者様は検査前に  
スタッフにお声をかけてください。



ヘアマニキュア・ヘアスカラ・毛染めのパウダー

MRI検査前に確認はしていますが、本人が忘れている場合や、伝えたくて言わないで検査をしてしまい、検査をして気づくことがあります。患者様自体はやけどをしてしまう可能性がある事と、画像に影響が出てしまいます。その他に成分の鉄粉がMRIの装置についてしまうと検査が行えなくなり、検査ができるようになるまで多額の費用と日数が発生します。検査前日から使用を控えていただく事と、使用している場合は必ず声をかけてください。



上記のもの以外にも注意が必要なものはたくさんあります。疑問に思ったことは、お気軽にお尋ねください。

安全に検査を行うためにご協力お願い致します。